

愛知県立一宮西高等学校では、保健委員が中心となり福祉的な活動をしています。今回はその取り組みと活動内容について紹介いたします。

保健委員とは 各クラス、男女1名ずつ選出されます。仕事の内容は「校内の水質検査」「トイレ清掃点検」「体育祭や球技大会での救護係」「保健だよりの作成」などがあります。今回は「愛知県立一宮聾学校」との交流について取材しました。



コロナの影響で、長らく実施できていませんでしたが、今年度、4年ぶりに交流会を開催することができました。「文化祭」の初日に、一宮西高校の保健委員と希望者が、聾学校高等部の生徒10名をお迎えしました。図書室で双方の自己紹介を行った後、学校で流行っていることなどの話題で盛り上がりました。



聾学校の生徒たちは、発話やジェスチャー、表情など、一宮西高校の生徒に伝わりやすいように、工夫をしながらコミュニケーションを取ってくれました。その後は、2つの班に分かれて、聾学校の生徒と一緒に各クラスを回りました。

「一宮聾学校交流会・校内ガイドボランティア」

高齢者疑似体験の様子

毎年、「高齢者疑似体験・視覚障害者ガイドヘルプ」の出前講座を実施しています。「高齢者の方への支援や配慮を学ぶこと」を目的として保健委員と医療・福祉関係へ進学を希望する生徒が参加しました。



ガイドヘルプ体験の様子



学校周辺の清掃活動

野球部では、週に一度、部活動の時間を利用して、部員全員で学校周辺の清掃活動に取り組んでいます。また、1年生は学校行事の環境美化活動として、毎年、学校周辺や二子駅までの通学路を清掃します。自分たちがよく利用する道をきれいにすることで、地域に貢献しています。

